



園だより



2024年3月1日

末長こぐま保育園

辻 敦美

晴れた日の日差しに春らしい暖かさを感じる季節になりました。子どもたちは、春の訪れを感じながら伸び伸びと元気に遊んでいます。早いもので今年度も残りわずかとなりましたが、思い返せばあっという間の1年間で、一緒に過ごした時間の中でいろいろな場面で頭をよぎるとともに、成長した姿に喜びと感慨深いものがあります。今月も子どもたちが日々の園生活を穏やかに過ごし、そして、就学や進級を心待ちにできるよう一日一日を大切にしていきたいと思います。また、子どもたちは、環境の変化から心が揺れ動くときです。お子様を真ん中にして、保護者の皆様と一緒に考えていくことが、なによりも大切なことだと思っておりますので、何かご心配なことがありましたらいつでもお声掛けください。子どもたちの心が満たされるよう職員全員で支えていきたいと思っています。



～「楽しい」と思う経験が子どもたちの大切な思い出となるように～

1月下旬から2月上旬にかけての11日間、男子保育学生1名が実習を行いました。彼は、公立時代の末長保育園の卒園児であり、そして、弟さんは末長こぐま保育園の卒園児とのことでした。初めての保育実習に卒園した園を選んでくれたことにとても嬉しく思いました。彼に「保育園の時のこと、覚えている？」と聞くと虫探しや先生と工作をしたことが思い出だと言っていました。薄れゆく記憶の中で、楽しい経験はいつまでも心に残るのだと感じるとともに、心身が大きく育っていく乳幼児期の子どもたちにとって、安心した環境の中で、楽しさや心を動かされる豊かな体験をたくさん重ねることができるよう、努めていかなければいけないと思いました。いよいよ、今月はきりん組20名が卒園を迎えます。私は、もともと幼稚園で勤めた期間の方が長く、その頃から娘たちの手が離れたら、保育園という場所で0歳から6歳までの子どもたちの成長を見守り、長い保育時間の中で共に過ごし、関わりを深めたいという思いから7年前に転職しました。しかし、異動もあり、まだ乳児からみてきた子どもたちを卒園まで見送ることができていません。きりん組の子どもたちとも1年間という短い期間でしたが、小さい頃の姿を知らない分、今の子どもたちのありのままの気持ちを受け止め、何年分の愛情をこめて抱きしめてきました。でも、実際のところは、子どもたちから笑顔と元気をもらう方が多く、たくさん支えてもらいました。きりん組の子どもたちにとっては、保育園生活最後の1か月、そして、在園児の子どもたちにとっては、進級することへの期待が高まる時期ですね。全ての子どもたちが、楽しく心に残る経験ができるよう、共に過ごす時間を大切にしながら関わっていききたいと思います。そして、卒園してからも、子どもたちと保護者の皆様にとって、保育園での楽しい思い出が心の中で深く刻まれあたたかな場所であるよう努めてまいります。

～今月の行事予定～

- 1日(金) 英語であそぼう(幼児クラス)
園医健診(0・1歳児クラス)
- 14日(木) 卒園式リハーサル(5歳児クラス)
- 15日(金) 英語であそぼう(幼児クラス)
避難訓練
- 19日(火) 卒園式リハーサル(5歳児クラス)
- 21日(木) 誕生会(幼児クラス)
- 23日(土) 卒園式(5歳児クラス)
- 25日(月) 移行保育開始
- 26日(火) お別れ遠足(5歳児クラス)

★場所は、(晴天) こどもの国、(雨天) 電車とバスの博物館です。お弁当のご用意を、よろしくお願いいたします。



～お知らせ～

- 卒園式について
5歳児クラスのみ参加です。本日配信したお知らせをご覧ください。
- 移行保育について
25日(月)より、新クラスで生活します。詳しい内容は、18日(月)クラスの掲示板に張り出しますのでご確認ください。



★今月、最終週に「園だより～年度末号～」を発行いたします。進級に向けての連絡事項などを載せる予定です。